



花崎北小学校だより

学校教育目標 「かしこく やさしく たくましく」

令和7年度
9月号

児童数 227名

平和な世界に向けて

花崎北小学校長 刑部 香織

8月29日（金）から2学期がスタートします。児童は、普段はできないお手伝いをしたり、家族と旅行をしたりして41日間の夏休みを有意義に過ごし、2学期を迎えてくれることと思います。2学期は多くの行事を予定しています。保護者や地域の皆様には、児童の活躍をご覧いただき、応援していただきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

この夏休みは「戦後80年」という言葉を多く耳にしました。1945年8月15日に終戦を迎えて今年で80年であり、多くの報道や記事がありました。その中で印象に残った言葉が2つあります。1つ目は、8月6日に行われた広島での平和記念式典で小学生が述べた「平和への誓い」です。このような言葉がありました。「世界では、今もどこかで戦争が起きています。大切な人を失い、生きることに絶望している人々がたくさんいます。その事実を自分のこととして考え、平和について感心をもつこと。多様性を認め、相手のことを理解しようとする。一人一人が相手の考えに寄り添い、思いやりの心で話し合うことができれば、傷つき、悲しい思いをする人がいなくなるはずです。周りの人たちのために、ほんの少し行動することが、いずれ世界の平和につながるのではないのでしょうか。～略～ 大人だけでなく、こどもである私たちも平和のために行動することができます。」2つ目は、8月14日に亡くなった茶道裏千家15代家元の千玄室さんの言葉です。玄室さんは戦時中の経験から、戦後は「お茶を通じて世界平和を広めたい」という信念をもち、相手を思いやる茶の湯の文化から、人と人とのつながりを見つめ直そうと訴えました。「お茶の精神の根幹には『どうぞ (After you) 』があります。自分が、自分は、ではなく、どうぞとまずは相手を思いやる気持ちが平和につながる」と語っていました。

2学期は一番長い学期であり、様々な活動を通して大きく成長できる学期です。日々の生活や行事への取組の中で「思いやりの心で話し合う」「周りの人のために行動をする」「どうぞ、と相手を思いやる」ことができると思います。一人の力は小さいかもしれませんが、一人一人の思いやりを積み重ね、花北小から平和な世界を築いていきましょう。

